

有田恵子の市政報告最終版

旭市民の皆様へ

ドンの独裁体制を打破し、税金の無駄使いをやめさせよう

旭市はとんでもない税金の無駄使いをしております。この根本原因は、市長がドンの言いなりで、ドンの私利私欲案件を何でも受けてしまうため、と思っておりました。しかし現実はずっと悪いようです。ドンが市長を無視して、直接市の職員に命令しているようです。議案も市長ではなくドンが直接命令して作らせているようです。市長も「蚊帳の外」「つんぼ」に置かれているのです。おそらく市長は何も知らされず、ドンに勝手なことをされているのではないのでしょうか。それでも市長はドンに文句を言わず、ドンの命令に忠実に従っております。その理由は、市長が市議時代ドンの派閥の子分で、ドンのお蔭で市長にならせた貰った恩義があるため、と思っておりました。しかし、それだけではないようです。市長の親族の土地を市に高値で購入させる、親族の会社から公用車を独占的に購入する、親族が委員長をしている砂の彫刻展に補助金を出す、など、親族に利権を与えるために、ドンに議会対策をしてもらった弱みがあるため、と想定されます。

市長が何も知らされず、ドンが勝手なことをしていると思った理由は、拙著「滅びゆく日本の処方箋」に記載した旭市役所を告発する文章について、市長から抗議文を頂戴しましたが、そこにとんでもないミスがあったからです。抗議文には、「真実」を「不実」と誤って記載しております。市長が命令して書かせたならば、自分が捺印するときに確認して、こんなとんでもないお粗末なミスは犯すはずがありません。ドンが誰かに文章を書かせ、ノーチェックで、市長に知らせず、勝手に総務課に捺印させて発送したため、と思われる。

これまで何度もご報告しましたが、改めて市が行った、とんでもない税金の無駄使いをご報告致します。これらはいずれも市長の利益になることではありません。全てドンの利益になることばかりです。市長はドンの私利私欲議案提出を抑えきれないのです。

1、津波避難塔の建設

市は、1基1000万円程度で出来る津波避難塔を、1億4927万円もかけて4基も海岸沿いに作りました。東日本大震災の津波の高さは最高21メートルです。15メートルを超えた所が5か所もあります。旭市が作った避難塔は全て10メートル以下です。こんなところに避難させて溺死したら市はどう責任を取るのでしょうか。おそらく、海岸近くに建てられた、この高さ僅か10メートル以下の鍵のかかった避難塔に避難する人は未来永劫皆無でしょう。この使われない避難塔には1基毎年60万円も保守費用が掛かるのです。

一体この後始末をどうしたらよいのでしょうか。私は、展望台として、また子供の遊び場として活用するしか他に利用方法はないのではないかと考えております。

2、三川蛇園連絡道建設

信じられないとんでもない税金の無駄遣い、疑惑の典型がこの道路の建設でしょう。この道路は国道126号線飯岡バイパスの江畑病院入り口にある造園業宮内グリーン前から海上の料亭なみ川の近くの交差点に至る2キロ余りのバイパスです。たった2キロ余りの曲がりくねった段差だらけの道路建設に市は25.5億円もの巨費

を投じつつあるのです。投資額がとんでもない巨額になる理由は、JRの土手盛りした線路下に新たにトンネルを設ける必要があるため、そのトンネル工事に14億円もかかるためです。

この道路はつくるべきではなかったのです。しかし既に一部完成していてそのまま放置しておくのは危険です。巨額の負担を要するトンネルを設けない形で何とか供用できるように変更する必要があるでしょう。それで14億円も節約になるのです。

3、 新庁舎建設用地について

新庁舎建設用地には国の補助金1億1136万円の巨費が投入されております。ここに新庁舎を建設すれば、公園整備費(新庁舎建設予定敷地のインターロッキング舗装及び芝生整備)が無駄になり、またこれを解体する費用が発生します。一体いくら税金の無駄使いになるのか、この金額を出すよう市に求めておりますが、算出困難と言って出しません。しかし、これが出せない分けがありません。おそらく莫大な金額になるためでしょう。また、代替施設として現庁舎跡地に都市公園の整備が要求されているのです。この代替公園の芝生の整備のため最低7057万円もかかるのです。新庁舎を建設するのであれば公園を整備してはいけなかったのです。公園を整備した以上新庁舎は別なところに建設しなければいけません。これは当たり前のことでしょう。私は、現庁舎の場所で建て替えればよいと思っております。そうすれば代替の公園建設費と合わせて、私の推計ですが3億5千万円もの税金をどぶに捨てなくて済むのです。

4、 飯岡中学外構工事の増額申請について

同工事を受注したE建設からの要請として、平成27年度第16号議案「想定外の湧水があり、このままでは工事ができないので4097万円予算の増額を認めて欲しい」が提出されました。調べてみると、この増額申請4097万円の内訳の大部分2703万円はウエルポイント工事(水抜き工事)でした。

このウエルポイント工事について調べてみると、E建設はこの工事をV社に702万円で丸投げし、自社では電気代172万円しか払っておりません。それなのに自社でウエルポイントをリースし、自ら水抜き工事した場合の仮定の見積もり(2703万円)をH建設設計事務所に作成させ、この虚偽の見積書を添付して請求してあります。しかし、実際にはウエルポイント工事は外構工事の実施に先立って実施済みで、増額申請はウエルポイント工事が完了して、原価874万円が確定して7か月もたってからの請求だったのです。あたかも想定外の湧水事故が突発し、工事が中断しているかの様な議案の提出理由は、全くの嘘であることが判明しました。

原価を3倍も上回る過大請求は詐欺罪に該当するのではないのでしょうか。原価の3割増し、請求額は1136万円が良い筈です。これを上回る金額について、E建設に返還請求すべきと思います。

5、 袋公園駐車場用地購入

市は、この土地の売買契約を地権者に来てもらい、直接行ったと証言しておりますが、これは大嘘です。地権者は旭市役所に行ったことは一度もない、と証言しております。ドンが地権者の息子を騙し、ドンが無断で市役所と2023万円(地権者の弟の分を含め2300万円)の契約をしながら、地権者には約1000万円で契約した、と嘘の説明をし、地権者の口座に振り込んだ1000万円との差額約1000万円を、ドンと地権者の息子が山分けしたのです。市は地権者の旧通帳(Mバンク)の存在を知りながらドンが地権者の息子と同行して作らせた

地権者も知らない新規通帳に売買代金を振り込んでおり、市は組織ぐるみの共犯を犯しているのです。

市役所は、文字通り「市民の役に立つ所」でなければなりません。しかし、旭市役所は、上記の通り、ドンの役に立つ所、「ドン役所」に成り下がっております。旭市役所は真っ黒け、疑惑の殿堂、伏魔殿です。市政刷新が緊急の課題です。そのためにはドンの独裁体制を解体しなければなりません。まず、ドンの子分を市長に選ばないことです。ドンが支援する市長候補者に投票しないことです。選べばドンの独裁体制がこのまま続くのです。

私は後援会を作りません。政治献金も受けません。正しい政治を行うためには後援会を作ったり、政治献金を受けてはいけません。私には選挙参謀もおりません。よそ者で地縁血縁のしがらみもありません。無い無いづくしですから遠慮なく市政刷新が出来るのです。